

アグリメディアが羽生市（埼玉県） とともに取り組んだ農業団地づくり



「農に関わる人を増やす」をビジョンとする 創業13年の農業分野の会社

貸農園
No.1

シェア畑

^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^ ^^

野菜づくりを、もっとみじかに。

「シェア畑」は、都市型初心者向けサポート付き貸し農園です。

家の近くの“自分の畑”で野菜づくりが楽しめます。手ぶらで通えるサポートつき！都市部にある使われていない農地と、野菜づくりをしたい都市住民をつなぐ「シェア畑」。貸し農園に再生した畑に、農具や苗を完備して、“手ぶら”で自分の畑がもてるレンタルサービスです。

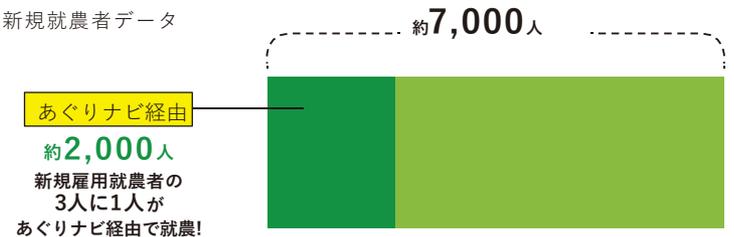


農業求人
サービス
No.1

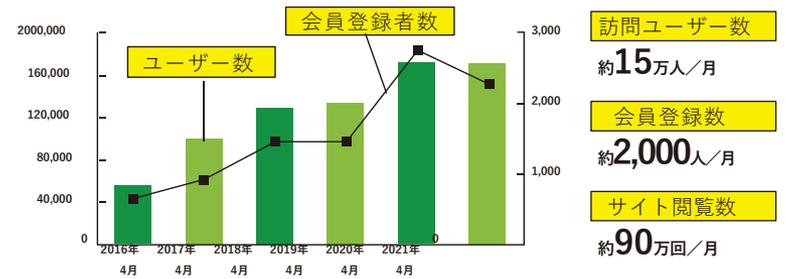
あぐりナビ

農業の担い手不足は深刻ですが、農業を仕事にしたいと考える人は増えつつあります。「あぐりナビ」は両者を結ぶ、プラットフォームです。

● 新規就農者データ



※当社調べ 2021年のデータより



※公表数値は2022年3月時点

当社の強みは、農業分野のデータ・ネットワーク

● ステークホルダーとのネットワーク ●

農地データ

農地・遊休地

20,000カ所

農業関係人口

就農希望者

130,000人

都市住民

63,000人

農家・法人

農家・農業法人

6,300アカウント

JA・自治体

170ヶ所

当社の農地に関する知見、農業法人とのネットワークが評価され、2018年頃より、以下のような自治体から伴走支援のコンサルタントを引き受けてほしいと、声がかかり始めた

羽生市（埼玉県）

24haの水田を高収益農業のエリアに変えたい。

吉川市（埼玉県）

常磐道のIC周辺の最大120haを農業を軸に活性化させたい。

矢吹町（福島県）

水田だった14haが行き詰まっており、農業法人誘致に力を貸してほしい。

いずれも地権者の高齢化で、待ったなしの状況となっていた。

当社は3自治体とそれぞれコンサルティング契約を結び、

地権者協議、ゾーニング設計、法人誘致を担っている。

アグリメディアの社内シンクタンクの代表が本日のスピーカー

アグリメディア研究所

AGRIMEDIA LABO

農業界で珍しいシンクタンクを社内組織として設置

アグリメディアのネットワークを活用し、① 公平で独自性の高い調査レポートを発信②自治体や企業向けのコンサルティングの2業務を特徴とする専門機関。

● 共同代表 ●

中戸川 誠

日本経済新聞社記者として10年間、エネルギーや農業政策を取材。2017年からアグリメディア。農教育事業の立ち上げや、羽生や吉川（いずれも埼玉県）の農業型街づくりPJを推進。

飯塚 遼太郎

新卒で野村総合研究所に入社。エネルギーや不動産、金融など大企業向けの戦略コンサルティングに幅広く従事。カーボンニュートラル事業領域を専門とする。2023年からアグリメディア。